

あかるく かしこく たくましく

令和6年8月29日 No. 18 文責：校長 佐野紳二

スマイルいっぱいの2学期に

40日間の夏休みが終わり、今日から2学期のスタートです。

子どもたちが戻ってきた校舎の中には、夏休みにエネルギーをたっぷり充電した子どもたちの元気な声が響いていました。2学期も子どもたちの学校生活が充実したものになるよう、我々教職員一同、一丸となって子どもたちの指導・支援にあたっていきたく考えています。2学期も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いします。

本日の始業式での、校長の話の概要です。



(前半は夏休みの振り返をしました。割愛します。)

今日から2学期が始まります。2学期には運動会や音楽会、各学年の校外学習など、たくさんの行事が予定されています。学校に来る日も77日と1年の中でも最も多く、たくさんの勉強をする学期でもあります。また、12月には来年度の児童会の役員選挙も行われるなど、6年生の卒業に向けての準備も少しずつ始まってきます。

そんな2学期も、小笠原小学校が笑顔いっぱいの楽しい学校になるように、もう一度各学級に掲示してある今年めあてについて確認しておきたいと思います。

1つめのめあては、「魔法のことばいっぱいの学校にしよう」です。

1学期は児童会の「にこにこあいさつカード」や「ありがとうチャレンジ」の取り組みもあり、これまで以上に「おはよう」のあいさつや「ありがとう」の気持ちを伝える機会が増え、校長先生もとても嬉しかったです。2学期には、先ほども言ったように運動会をはじめとするたくさんの行事があります。そうした行事への取り組みの中で、「ありがとう」だけではなく「がんばれ」「ドンマイ」

「いいね」など、友だちの頑張りを認め、励ますような素敵な言葉がたくさん使われるといいなと思っています。また、朝の「おはよう」だけでなく、帰りの「さようなら」のあいさつも、少しずつ増やしていきましょう。

2つめのめあては、「よい行動いっぱいの学校にしよう」です。

1学期にも、みなさんが一生懸命学習や運動に取り組む姿、友だちと協力して活動する姿、そうじや係活動、委員会活動にしっかり取り組む姿が見られました。

2学期には児童会の「脱出おそうじマップ」の取り組みがあります。一生懸命そうじをする人がより一層増えることと期待しています。また、廊下をすずかに歩く、靴をしっかりと揃えるなど、当たり前のことにも引き続きしっかり取り組んでほしいと思います。

2学期も小笠原小学校がスマイルいっぱいの学校になるように、みんなで力を合わせて頑張っていきましょう。



舞台に立って

YOASOBI (作詞・作曲 Ayase)

無邪気に思い描いた
未来の私の背中を
ひたすら追いかけた
きっと もうすぐ見えなくなる
重なり合う
そう信じている
ここが私の未来だ

数ある中で選んだのは
きっと最初から分かっていたから
これじゃなきゃダメなんだって
誰にも負けたくなかった
しんどくてもひたすら走り続けた
翌る日も翌る日も

勝ち負けがはっきりある世界は
好きだけじゃ生き残れない
いつも結果と成果
遊びじゃない
そんなこと分かってる

でもね 好きだから諦めなかった
このがむしゃらな毎日がきっと
願った結末に繋がっているって
信じている

さあ
待ちに待った舞台に立って
高鳴る鼓動 挑戦の合図
何度も何度も
イメージしてきた
どんな自分も超えてみせる
大きく吸った息を吐いて
もう一度目線を上げれば
かさぶたばっかの毎日も
今に繋がっていると思えた
そうだ夢に見ていた景色の
目の前に立っているんだ

不条理を前に立ち尽くすこともあった
他人は好き勝手ばかり言うし
もう何のために戦ってんだろ
って分かんなくなって
そんな時も もう一度って
なんとか手を伸ばせたのは
隣で戦い続ける
君がいたから

ずっと
憧れてきた舞台に立って
これまでのこと思い返す
何度も何度も
流した涙の分
立ち上がってきた
大きく吸った息を吐いて
ゆっくり瞼を開けて
踏み出すんだ
会いに行くんだ
思い描いた未来の私に

さあ
待ちに待った舞台に立って
今鳴り響く開幕の合図
何度も何度も
イメージしてきた
どんな自分も超えて行ける

大きく吸った息を吐いて
静かに目線を上げれば
今までのどの瞬間も
無駄じゃなかったと思えた
そうだ夢に見ていた未来に
今私は立っているんだ

そう 無邪気に思い描いた
未来の私はもうそこにいるんだ
今確かに捉えた



この夏、私が一番たくさん
聴いた歌がこの YOASOBI
の「舞台に立って」です。
普段、聴いていると曲だけ
が印象に残りますが、こう
して歌詞を見ると、とても
ステキな詞ですね。

